

沖縄県立図書館運営方針に基づく図書館評価（総括表）

※対象年度：令和4年度

1 各目標の推進状況

目標	1	県民に開かれた知の拠点
目指す目標像	県立図書館は、全ての県民が気軽に利用でき、県民の多様なニーズに応える「知の拠点」として、生涯学習を通じて豊かな知識と心を育む場を提供します。	
関連取組	1-①県民が主体的に集い・交流・創造する「場」づくり 1-②展示コーナーを活用した情報発信 1-③ボランティア等県民との協働 2-①障害者等向け資料の充実 2-②障がい者等サービスについての広報 2-③研修会・講演会等の開催 3-①多文化エリアのサービス充実 3-②外国人向けの情報提供の充実 4-①窓口委託業務のモニタリング等 4-②満足度アンケートの実施 5-①ホームページの充実 5-②広報誌・SNSによる情報発信 5-③各種イベントへの参加	

令和4年度 目標推進状況
概ね順調
備考（概要等）
活動指標進捗：3/3「順調」 成果指標進捗：2/4「達成」、2/4「未達成」 (SNSリツイート数、利用登録者数) ○図書館職員が県内新聞にリレーエッセーを掲載

目標	2	琉球・沖縄関係資料の中核的図書館
目指す目標像	琉球・沖縄の文化継承・発展の中核となり、誇りうる図書館として、県民のアイデンティティの継承発展に資すること等を目的に、蔵書の核となる郷土資料の充実・保存・活用を図り、文化の創造に貢献します。	
関連取組	6-①郷土資料の網羅的収集 6-②基調書の継続的な調査・収集 6-③移民関連資料の収集・提供 6-④視聴覚資料の調査・収集・提供 7-①適切な保存環境の整備及び収蔵計画の策定 7-②寄贈資料整理計画の策定 7-③郷土資料の修復・デジタル化の実施 8-①貴重資料・新収蔵品両児に係る展示会の開催 8-②図書館資料を活用した講座・セミナー等の開催 8-③デジタルアーカイブの充実 8-④郷土資料関連サービスにかかる情報発信	

令和4年度 目標推進状況
概ね順調
備考（概要等）
活動指標進捗：3/5「順調」、2/5「概ね順調」 (郷土資料購入冊数、琉球・沖縄関係講座回数) 成果指標進捗：2/3「達成」、1/3「未達成」 (リファレンス協同データベース回数) ○県系移民渡航記録データベースを公開 ○世界のラチナンチュ大会において移民ルーツ調査実施

目標	3	地域や県民の課題解決を支援する図書館
目指す目標像	地域や県民の多様化・専門化する課題に対応した情報を広範囲に収集し、活用できる図書館を目指します。	
関連取組	9-①健康・医療・子育て等、課題解決サポートの充実 10-①就労、企業、経営に関する資料の収集 10-②関連機関等と連携した相談会、セミナー、講座等の開催 11-①国・県・市町村等事業との連携 12-①琉球・沖縄に関するレファレンス対応能力の向上 12-②郷土資料関連サービスにかかる情報発信 12-③移民関係資料を活用したルーツ調査等の実施	

令和4年度 目標推進状況
取組は順調だが、成果は遅れている
備考（概要等）
活動指標進捗：4/5「順調」、1/5「大幅遅れ」 (課題解決支援関連図書購入冊数) 成果指標進捗：1/4「達成」、3/4「未達成」 (ワイクIDB利用数、リファレンス回数、ビジネスIDB利用数) ○「ハ・スライダ」の作成・配布を開始 等

目標	4	県域の中核となる図書館
目指す目標像	すべての県民に等しく読書環境を提供するため市町村立図書館及び図書館未設置町村を支援するとともに、関係機関とのネットワークの充実を図り、県全域の図書館サービスの向上に寄与します。	
関連取組	13-①通称地返却、協力貸出、電子書籍等による利便性の向上 14-①子どもの読書活動推進に資する研修等の開催 14-②読書活動推進団体及び学校図書館の支援と連携 14-③子どもの読書活動推進に資する図書の実売及び展示会・イベント等の開催 15-①相互貸借に係る資料配達の支援 15-②市町村立図書館等との連携協力及び情報提供の強化 16-①移動（空とぶ）図書館、一括貸出、協力貸出の実施 16-②関係町村等との連携協力・情報提供の強化 17-①関連・連携機関と連携した事業等の開催及びネットワークの強化 18-①県内図書館職員を対象とした研修計画の策定と実施 18-②県立図書館職員の専門性の向上及び研修機会の確保	

令和4年度 目標推進状況
概ね順調
備考（概要等）
活動指標進捗：2/4「順調」、1/4「やや遅れ」、1/4「大幅遅れ」 (移動図書館開館回数) (学校等訪問回数) 成果指標進捗：2/4「達成」、2/4「未達成」 (未設置町村等向け貸出、電子書籍閲覧数) ○文科省等開催研修への講師等派遣 (のべ5名) 等

3 総括評価（自己評価）

活動指標の進捗について、全17項目中、「順調」が12項目、「概ね順調」が2項目、「やや遅れ」が1項目、「大幅遅れ」が2項目という結果となった。

「順調」以外の項目については、新型コロナウイルス感染症等の外的要因によるものが、4項目とほとんどだったが、「課題解決支援関連図書購入冊数」については、資料費予算の減少に伴うものであった。

成果指標の進捗については、全15項目中、「達成」が7項目、「未達成」が8項目と「未達成」の指標の方が多い結果となっている。こちらも「未達成」のものは、外的要因等によるものが5項目あった他、ほぼ計画値を達成したものが1項目あったが、その他の2項目（「利用登録者数」及び「電子書籍閲覧数」）については、目標の達成に向け、周知・広報等に取り組んでいく必要がある。

また、活動指標の「課題解決支援関連図書購入冊数」及び成果指標の「電子書籍閲覧数」を改善する為には、資料費予算の確保が重要である。利用者満足度調査の「蔵書満足度」についても、職員対応満足度や施設満足度と比較すると「不満足」や「どちらかといえば不満」との回答が多く見られることも踏まえ、他県等の情報も参考にしながら、組織的に予算確保に向けて取り組んでいく必要がある。

また、施設満足度については、専用駐車場を利用しないといけない自家用車利用者の満足度が地域を問わず低い傾向がみられることから、駐車場の利用に対する支援策にも取り組んでいく必要がある。

2 参考指標の推移

参考指標1	入館者数				備考
平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
249,999人	562,962人	280,451人	233,539人	392,537人	

参考指標2	蔵書冊数				備考
平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	【R4内訳（概数）】 一般書・429千冊 児童書・66千冊 郷土・343千冊 広域サービス用・109千冊
902,419冊	870,895冊	909,650冊	927,856冊	947,577冊	

参考指標3	貸出冊数				備考
平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	【R4内訳（概数）】 一般書・255千冊 児童書・118千冊 郷土・27千冊 広域サービス用・53千冊
195,772冊	484,769冊	383,142冊	349,875冊	452,126冊	

参考指標4	レファレンス件数（一般）				備考
平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	※H30・R1は一般と郷土の合計値を記載 R3より計数方法見直しあり
7,546件	16,151件	14,685件	37,001件	33,112件	
うち非デジタル				181件	

参考指標5	レファレンス件数（郷土）				備考
平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	※H30・R1は一般と郷土の合計値を記載 R3より計数方法見直しあり
7,546件	16,151件	5,777件	5,761件	7,495件	
うち非デジタル				733件	

その他参考	開館日数				備考
平成29年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	H30は新館移転に伴う長期休館あり、R2・R3以降は、新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休館あり。
291日	281日	248日	220日	294日	

4 外部評価（沖縄県立図書館協議会）

本協議会では、令和4年度の県立図書館の活動について、郷土資料の積極的な収集や様々なテーマでの講座・展示の開催など、県立図書館ならではの取り組みが見られる点について高く評価する意見が寄せられた。一方で、「コロナ禍3年目」ということもあり、各地の図書館も日常を取り戻しつつある中、県内図書館をリードする県立図書館への期待の表れとして様々な要望も寄せられた。全てをここで取り上げることができないが、多くの委員から要望が出た点、今後の検討課題を中心に、外部評価として以下の点を報告したい。

●令和6年3月に導入予定の座席Web予約システムについて、「予約時に利用者カードが必要という点はサービスの制限になるのでは？」という意見もあったが、カード作成時に図書館の使い方をPRするなど、自習利用に終わらせないアプローチが意図されていること、また、身分証を持たない子どもには「ワビンチャー席」という予約不要席で対応できるという説明があった。全県民を対象とする県立図書館には多様な事情を抱えた利用者が集まる。Web予約システムの導入を契機として、図書館サービスのPRに努めつつ、多様な利用者を想定し、座席利用について柔軟な対応を模索してほしい。

●活動指標・成果指標には「レファレンスサービス」に関する項目がいくつか挙げられているが、アンケート結果では「知らなかった」「知っているけど使ったことがない」という回答が非常に多い。貸出冊数だけでは評価できない、重要な図書館のたらしきをさらに充実させていく上で、若い世代も含めて、フォロー数の多いX(旧Twitter)はもちろん、YouTube、TikTokなどを活用してその利便性を魅力的に広報してほしい。

●活動指標については達成度を数値によって評価する形式になっており、それを補うために、成果指標の一部でアンケート評価が行われていると思われるが、活動指標でも質的な評価を取り入れる方法がないか、他の図書館の評価法を参考にしてほしい、という意見が多く寄せられた。また、各指標の数値設定についても、一部で200%近い達成率になっているものもあり、高く評価できる一方で、そもそもの設定が適切かどうか、という問いかけもあった。さらに、活動指標の進捗状況について、年度ごとの実績値を挙げる項目と累積値を挙げる項目があり、統一する方がよいという意見もあった。今回の会議では、初めての試みとして、都道府県立図書館の統計資料が配布された。この資料を活用すれば、計画値・目標値の見直しも可能だろう。協議会としても積極的に意見を出しながら、よりよいサービス評価につながるように、事務局とともに評価のあり方について議論していきたい。